No.	取り組み項目	現状と課題	取り組みの内容	現状及び目標	主管課	関係課	期間全体の目標額
4	④外部評価の実施	町では、平成21年度に6事業、22年度は12事業について外部評価を実施しているが、昨今の社会情勢は変化が激しく、また、行政へのニーズは多様化しており、今後も事務執行における効率改善や経費削減、取り組み強化すべき点などについて外部の者の客観的な視点による点検・評価が求められる。	選定した事業について外部評価を行い、町の各事業が効率的に行われ、町民の役に立っているかを確認し、その結果に基づき、町は各事業の見直しを行い、効率改善や経費削減などを進めていく。	〈現状〉平成22年度外部評価実施事業数 12事業 〈目標〉外部評価を行う事業数 平成24年度：12事業／平成25年度：12事業／平成26年度：12事業	企画政策課	全課	4,000万円の減

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度実績	進捗状況	
24年度	スケジュール	外部評価委員の選定 事務事業評価シートの作成(内部評価)	外部評価の実施(目標事業数:12) ※8月:ヒアリングの実施	※10月:評価確定 11月中:評価結果に基づき、町の方針を検討	12月~:次年度予算へ反映	目標どおり12項目(17事業・経費)実施	☐ 予定以上 ☒ 予定どおり ☐ 遅れ	
	実績	外部評価実施に向けた準備を目標どおり行った。	17の事業・経費を選定し、ヒアリングを実施	評価結果をまとめ、町長へ報告(10/25)報告内容に基づき町の方針を決定決定した町の方針を議会に報告(12/4)	※評価結果を受けた町の方針に基づき、25年度予算への反映を図った。			
	実施内容	外部評価を実施するための事前準備を行った。 ・委員の委嘱 ・評価用資料の作成	・次のとおり委員会会議を開催した。 7/5第1回外部評価委員会(事業選定) /26第2回 " (事業選定) 8/10第3回 " (ヒアリング) /31第4回 " (ヒアリング) 9/28第5回 " (評価内容検討)	・次のとおり委員会会議を開催した。 10/16第6回外部評価委員会(評価結果確定) ※10/25は会議はなく町長報告のみ ・11/1、2町の方針について、町長によるヒアリングを実施 ・ヒアリングの結果を踏まえて町の方針を庁議で決定 ・12/4町議会総務常任委員会協議会で報告 ・町の方針をホームページで公表	※町の方針を受け、第3四半期から第4四半期にかけて、評価対象となった事業等の担当課の予算要求や予算の所管である財政担当の調整により、25年度予算への反映を図った。			
	その他取り組み事項等	外部評価の対象となった事業等について、町の方針の内容に基づき25年度予算への反映を図った。						
	次年度に向けた課題	過去に事業仕分け・外部評価を受けた事業等については評価選定の対象から外しているが、期間経過による見直しの必要性や選定対象の確保という観点から、評価選定の基準、手法についての検討が必要である。						
	単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】	1,376万円の減	(算出根拠) 外部評価の結果報告を受け、町の方針について「増額・現行・減額・なし」の区分のうちから「減額」と定めたものに関し、平成24年度と平成25年度の当初予算額を比較したものと					

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度実績	進捗状況	
25年度	スケジュール	・事業選定(委員による作業) 過去の事業仕分け・外部評価の結果に対する町の方針に基づく対応状況の取りまとめ	◎外部評価委員会会議開催(全6回程度) ・ヒアリング実施(8月)	・評価確定(10月) ・評価結果に基づき町の方針を検討(10月下旬~11月頭) 【方針作成 → 町長ヒアリング → 方針決定】 → 町の方針を庁議へ付議	・次年度予算へ反映(12月~)	目標どおり12項目(14事業・経費)実施	☐ 予定以上 ☒ 予定どおり ☐ 遅れ	
	実績	外部評価実施に向けた準備を目標どおり行った。	14の事業・経費を選定し、ヒアリングを実施した。	評価結果をまとめ、町長へ報告(10/7)報告内容に基づき町の方針を決定決定した町の方針を議会に報告(12/3)	評価結果を受けた町の方針に基づき、26年度予算への反映を図った。			
	実施内容	外部評価を実施するための事前準備を行った。 ・評価用資料の作成(事業・経費・補助金・扶助費等一覧) ・事業等選定資料を委員に送付した。	・次のとおり外部評価委員会会議を開催した。 7/4第1回(事業選定) 7/25第2回(ヒアリング) 8/2第3回(ヒアリング) 8/6第4回(ヒアリング) 9/3第5回(評価内容検討)	・次のとおり委員会会議を開催した。 10/3第6回外部評価委員会(評価内容の確定と結果報告書) ※10/7は会議はなく、町長報告のみ ・10/22、23に町の方針について、町長によるヒアリングを実施 ・ヒアリングの結果を踏まえて町の方針を庁議で決定 ・12/3町議会報告 ・町の方針をホームページで公表	町の方針を受け、第3四半期から第4四半期にかけて、評価対象となった事業等の担当課の予算要求や予算の所管である財政担当との調整により、26年度予算への反映を図った。			
	その他取り組み事項等	○期間経過による見直しの必要性という観点から、過去に事業仕分け・外部評価を受けた事業等について現時点での対応状況の取りまとめを行い、それを委員会の資料として活用することにより、再度、評価選定の対象とした。(再評価実施事業等：観光協会補助事業、自治会活動支援事業、はり灸・マッサージ治療補助事業、シルバー人材センター支援事業、公園等運営管理経費、健康増進事業(一部)) ○年度途中(7月頃)から始まっている次年度予算要求作業への迅速かつ円滑な反映を図るため、町方針の早期確定に努めるとともに、財政担当へ随時情報提供を行った。						
	今後の課題	○町の行政評価については、これまで内部評価・外部評価ともに事務事業レベルで実施しているが、町総合計画後期基本計画では、施策を達成するための手段として事務事業が位置づけられており、行政評価のあり方として、事務事業レベルでの評価に終始することなく、施策レベルでの評価も併せて実施する必要がある。 平成26年度評価実施分から施策レベルでの内部評価に着手できるよう第4四半期から準備を進めており、併せて外部評価についても同様の取り組みができるよう、外部評価委員会と協議のうえ、実施に向けた検討を進める必要がある。 ○平成26年度は委員改選の年にあたるため、上記課題を踏まえつつ、評価手法や進行、必要資料の作成等に関し、評価を遅滞なく行うことができるよう準備する必要がある。						
	単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】	995万円の減	(算出根拠) 外部評価の結果報告を受け、町の方針について「増額・現行・減額・なし」の区分のうちから「減額・なし」と定めたものに関し、平成25年度と平成26年度の当初予算額を比較したものと					

スケジュールと状況		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度実績	進捗状況	
26年度	スケジュール	委員任期満了に伴う新委員の選定 前年度からの課題を踏まえた実施方法の検討(施策単位での外部評価に関する実施について) 24・25年度に実施した外部評価結果に対する町の方針に基づく対応状況の取りまとめ	◎外部評価委員会会議開催(全7~8回程度) ・ヒアリング等の実施	評価確定(10月) 評価結果に基づき町の対応を検討	・次年度予算へ反映(12月~) ・施策評価の確定 ・並行して策定作業を行っている町総合計画後期基本計画第2次実施計画への反映 ・次年度予算への反映等	目標どおり16事業(2施策)実施	☒ 予定以上 ☐ 予定どおり ☐ 遅れ	
	実績	外部評価実施に向けた準備を目標どおり行った。	2施策(構成事業:16事業)を評価対象として選定し、ヒアリングを実施。評価内容の検討を行った。	評価結果をまとめ、町長へ報告(10/16)報告内容に基づき町の方針を決定決定した町の方針を議会に報告(12/3)	評価結果を受けた町の方針に基づき、町総合計画後期基本計画第2次実施計画(平成27年度予算)への反映を図った。			
	実施内容	・委員の任期満了に伴い、新委員を選定 ・24・25年度に実施した外部評価結果に対する町の方針に基づく25年度の進捗状況について取りまとめ ・外部評価を実施するための事前準備 ・施策進行管理・評価シートなど、評価用資料の作成 ・外部評価の実施方法についてや評価対象施策の選定基準などの事務局案を作成し、委員へ送付	・次のとおり外部評価委員会会議を開催した。 7/9第1回(施策選定) 7/29第2回(ヒアリング事業の選定) 8/9第3回(ヒアリング) 8/18第4回(ヒアリング) 9/16第5回(評価内容検討)	・次のとおり外部評価委員会会議を開催した。 10/1第6回(評価結果確定) ※10/16は会議ではなく、町長報告のみ ・10/24に町の方針について、町長によるヒアリングを実施 ・ヒアリングの結果を踏まえて町の方針を庁議で決定 ・12/3町議会報告 ・町の方針をホームページで公表	町の方針を受け、第3四半期から第4四半期にかけて、評価対象となった事業等の担当課の予算要求や予算の所管である財政担当との調整により、27年度予算への反映を図った。 また、町総合計画後期基本計画実施計画への反映を図った。			
	その他取り組み事項等	本年度が町総合計画後期基本計画第2次実施計画の策定年度であることから、その策定作業に合わせて、本事業においても次のような取り組みを行った。 ・施策の進捗等を適切に把握することを目的に施策評価を始めたことから、外部評価についても検討のうえ、施策評価に主眼を置いて実施することとした。 ・年度当初から始めた企画政策課・財政課による全事業を対象としたヒアリング作業や次年度の予算要求作業への迅速かつ円滑な反映を図るため、町方針の早期確定に努めるとともに、随時、関係者との情報共有を図った。						
	単年度における取り組み結果としての効果額【参考数値】		(算出根拠) ※平成26年度については、施策レベルでの外部評価を行い、予算に焦点を当てた評価ではなかったため、効果額として図ることができなかった。					